

施策分析シート（令和4年度）

No1

施策名	国内・海外都市との交流の推進	施策No	09-02	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課
				課長名	小林 内線 2521

関連部課名	総務企画部総務企画課				
-------	------------	--	--	--	--

行政評価	分野	V	文化創造都市
事業体系	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進

目的 全国各地域の自治体と幅広い交流を進め、より豊かな区民生活の実現を目指すとともに、相互の都市の活性化を図る。  
海外都市との国際的な交流を深め、多文化が共生する魅力あるまちを目指す。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		元年度	2年度	3年度	
①	地域への愛着	2.91	-	2.92	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？
②	文化的寛容性	2.68	-	2.66	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？
③					
④					

  

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		元年度	2年度	3年度	4年度見込み	目標値(8年度)	
①	国内交流都市との交流事業参加者数(人)	93	0	41	93	150	国内交流都市ツアー参加者数、令和3年度潮来市田植え交流会参加者数
②	国内交流都市との連携事業数(事業)	30	12	40	30	30	各課で実施している国内交流都市との連携事業数
③	通訳ボランティア登録数(人)	52	49	70	80	100	3年度にボランティアを追加公募
④	海外都市交流事業参加者数(人)	177	6	6	50	320	3年度は、ドナウシュタット区25周年記念動画参加者等
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	2年度	3年度	差額	勘定科目	2年度	3年度	差額
	行政費用	給与関係費	35,720	33,454	▲ 2,266	地方税等	0	0
物件費		1,516	1,797	281	国庫支出金	0	130	130
維持補修費		0	0	0	都支出金	219	0	▲ 219
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		1,554	2,310	756	使用料及び手数料	0	0	0
減価償却費		0	0	0	その他	367	753	386
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	586	883	297
賞与・退職給与引当金繰入額		3,362	3,861	499	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 41,566	▲ 40,539	1,027
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		42,152	41,422	▲ 730	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 41,566	▲ 40,539	1,027
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 41,566	▲ 40,539	1,027

貸借対照表	勘定科目	2年度	3年度	差額	勘定科目	2年度	3年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	1,639	1,540
不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金	0	0	0
その他の流動資産		0	0	0	特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	1,639	1,540	▲ 99
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	17,311	21,229	3,918
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	17,311	21,229	3,918
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	18,950	22,769	3,819
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 18,950	▲ 22,769	▲ 3,819
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 18,950	▲ 22,769	▲ 3,819
	資産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0

財務諸表に関する特措事項等

○行政費用として、物件費及び補助費等の割合が高くなっている。内訳としては、国内交流都市との交流にかかる経費及び国際交流協会への補助が多くを占めている。前年度と比較して、給与関係費の減少は、職員減員に伴うものである。  
○行政収入のその他については、特別区長会からの補助金である。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○区では、様々な縁や結び付きを契機として全国各地の自治体と幅広い都市間交流を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月以降、対面での交流事業を中止している。</p> <p>○国内都市交流では、代替として、田植え・稲刈りツアーに代わるバケツ稲づくりやパネル展、オンラインによる物産展に事業を変更し、交流の継続を図った。</p> <p>○海外都市との交流についても、オーストリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区、韓国濟州市及び中国大連市中山区の3都市と、高校生相互派遣や日暮里ファッションショー、スポーツ大会の開催等、文化・スポーツ・教育など様々な面で交流を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年3月以降、対面での交流事業を中止している。</p> <p>○海外都市との交流を継続していくために、ウィーン市ドナウシュタット区の高中生相互派遣事業については、友好交流都市提携25周年であることに伴い、記念動画を作製し共有することで、交流を図った。</p>
課題	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、感染予防策を徹底した上で、新しい生活様式に対応した交流事業の実施方法を検討していく必要がある。</p> <p>○国内交流都市、特別区全国連携プロジェクトや幸せリーグ等を通じて、全国各地の自治体との交流が増えてきた中で、お互いに有益な交流を深めていく必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大により、海外交流事業が中止・延期となっているため、新たな交流方法を検討していく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○新しい生活様式に対応するため、インターネット等を活用した交流事業を構築し、区民が主体となった他自治体との交流を積極的に支援する。</p> <p>○「特別区全国連携プロジェクト」においても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、関係自治体との連携を更に深めながら、事業の実施内容等について検討・工夫し、全国各地域と区内の産業振興や観光振興、地域の活性化等を引き続き推進する。</p> <p>○「幸せリーグ」における自治体職員同士の交流を促進し、共通する行政課題についての情報交換や先進事例を取り入れ、新たな施策の立案につなげ、区民サービスの一層の向上を図る。</p> <p>○友好都市や幸せリーグ加入自治体等と災害時相互応援協定を締結し、物資の提供にとどまらず、人の応援、被災者の受入など、様々な助け合いの関係を構築する。</p> <p>○国内交流都市との交流事業については、令和2年度から開始したパネル展での国内交流都市の紹介等を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、現地でのツアー等の実施に向けて、交流都市と協議を進める。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、海外都市との交流については、オンラインでの交流や、互いの国の状況について、連絡を密にとりあうことなどにより、円滑な事業再開に向けた活動を行う。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
4年度	5年度	
重点的に推進	重点的に推進	国内外の交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や交流の充実を図る。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		2年度	3年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
特別区全国連携プロジェクト	01-01-10	2,807	3,513	86	678	推進	推進	荒川区を含む東京、全国各地域の持続的な発展、住民の生活の質の維持・向上が期待できるため、推進する。
国内都市交流事業	05-01-03	14,377	14,844	804	727	重点的に推進	重点的に推進	都市間相互の活性化を推進するとともに、災害時の相互応援態勢強化を図るため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による新しい生活様式に対応した交流方法での実施を重点的に推進する。
国際交流協会補助	05-01-04	7,856	11,386	1,554	2,310	重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際理解・交流の推進母体として支援する必要がある、重点的に推進する。
海外都市交流事業	05-01-05	17,114	11,678	12,948	8,429	推進	推進	海外友好都市との交流は国際理解や文化交流のために大きく貢献する事業であり、新型コロナウイルス感染症が終息するまでの間、オンラインでの交流等新しい時代に合わせた方法を取り入れ、実施を推進する。
合計		42,154	41,421	15,392	12,144			

